

= ニュースレター (2017年12月号) =

エンジニアリング、マニュファクチャリング、メンテナンス

<職場のご紹介> プラント事業部 技術1部



10月1日の基本組織変更でプラント事業部に北陸の外部向けエンジニアリング部隊が統合されたことに伴い、従来のプラント技術部は「技術1部」として新たなスタートを切りました（北陸は「技術2部」）。

技術1部は部課員32名で設計課とプロジェクト課から構成されており、滋賀を拠点として主に関西地域における一般外部向けプラント設備の建設に携わっています。

今年度からスタートした弊社4ヶ年新中期経営課題では、1stステップの『変革』を2017年度方針とし、新体制への円滑な移行と併せて新たなコストダウン手法の確立、成長分野への事業拡大のための技術力向上などに力を入れています。

「完全無災害」を第一義に、今後もお客様に満足していただける設備の提供が出来るよう、部課員全員日々精進してまいりますので、引き続きご支援並びにご指導のほど宜しくお願いいたします。

“トピックス”

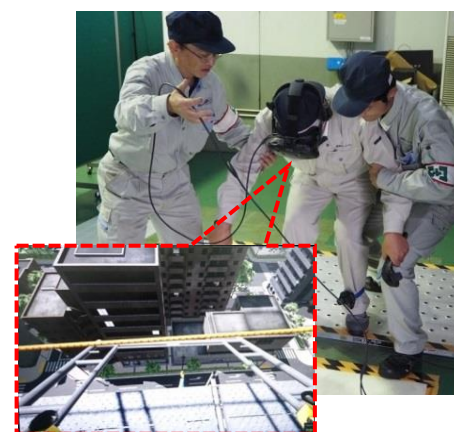
2017年11月1日 VR (バーチャルリアリティ) の導入

世間では3次元計測技術の開発が加速してきており、弊社でも新技術を積極的に取り入れ、実務へ応用することにより工事品質の向上を図っています。既に導入して業務に適用している3Dスキャナー（点群撮影画像）とVRの融合的活用もその一つです。

VRとは、3次元空間内にVR体験者の身体が投影され、本当にその空間に居るよう感じられるものです。実際の現場に行かずとも、コンピューター上の3次元空間内で360度の情景を見渡せるのが特徴です。

弊社では11月に滋賀勤務の社員を主対象にVRによる墜落疑似体感安全教育を行い、現場での危険感受性向上に役立てました。

今後は、工場設備導入時の用役配管干渉チェックや機器の搬入ルート検討などにも幅広く活用していきたいと考えています。



VRによる墜落体験

2017年 園山機器組立工場の作業環境整備

エンジニアリング事業本部機器事業部電製部では、園山機器組立工場において、各種制御盤、分電盤などの設計・製作を中心に「ものづくり」を実践しています。



工場空調の更新

園山機器組立工場は、環境にやさしく人にもやさしい、快適な職場環境を目指しており、工場設備の改善を推進しています。2016年度には、工場照明を水銀灯からLED照明に更新、2017年度上期には、工場空調を最新機種に更新し、働きやすい作業環境と省エネの推進を進めてきました。



工場照明のLED化

さらに、2017年度下期は、工場だけではなく事務エリアのレイアウト変更も計画しており、今まで別の建屋にいた営業部隊も一緒になって、より一層の業務効率化と活気のある職場づくりを目指してまいります。

(担当部署：機器事業部 電製部 Tel：077-534-4739)

2017年10月13日～15日

第65回全日本実業団弓道大会 産業別戦優勝！



弊社社員の滋賀保全事業部 山下 凱選手、愛媛保全事業部 田中 成弥選手、愛媛施設事業部 川口 知也選手が明治神宮武道場『至誠館弓道場』で開催された表題大会に東レAチーム（山下選手）、東レ愛媛工場チーム（田中選手、川口選手）として出場しました。

産業別戦（化学・食品・繊維の部）において、東レAチームが悲願の初優勝を果たし、東レ愛媛工場チームも3位という優秀な成績を収めました。

<ライフ&ワークバランス>関西ティーイーケイ ボートチーム 頑張ってます！！

ニュースレター8月号で紹介された関西ティーイーケイ ボートチーム「Quartet Row」は、元日本代表を含む競技経験者3名と初心者8名の混合チームです。

チーム設立のきっかけは、初心者メンバーが興味本位で参加を決めた7月の東レ滋賀事業場ボート大会でした。やる気満々の初心者メンバーでしたが、大会に向けての初回の練習では、コーチ（競技経験者）を「無事に岸に戻ってこられるのか？」と不安に陥れたものです。

その後も、地元で開催されるレースに連続して出場しています！10月の「かいつぶり(*)レガッタ」、11月の「RITSレガッタ」と、練習と試合を重ねるごとに、新メンバーも増え、チームとして成長を続けています！

(*)かいつぶりは、滋賀県の県鳥



(報告：関西ティーイーケイ ボートチーム 一同)